

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

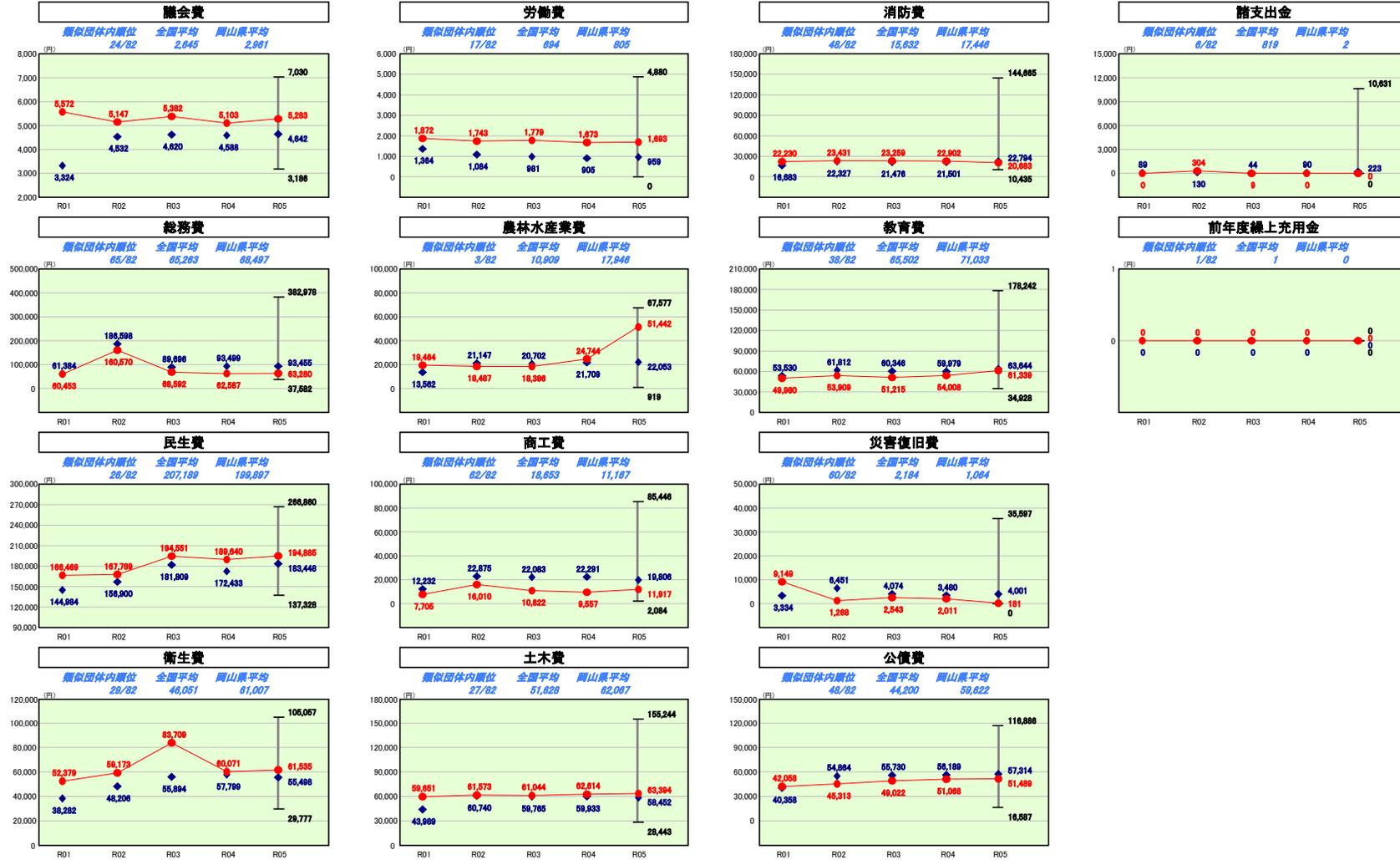
令和5年度

岡山県笠岡市

人口	44,773人(R6.1.1現在)	実質赤字比率	-	96
うち日本人	43,966人(R6.1.1現在)	道徳実質赤字比率	-	96
面積	136.07k㎡	実質公債費比率	7.8	96
歳入総額	26,698,472千円	将来負担比率	48.2	96
歳出総額	26,287,188千円	市町村類型	R01 I-2 R02 I-2 R03 I-2	
実質収支	336,901千円	(年度毎)	R04 I-2 R05 I-2	
標準財政規模	13,548,567千円			
地方債現在高	28,106,413千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析概

民生費は物価高騰対策としての非課税世帯等への給付を行ったことや、近年障害福祉サービスや障害児通所給付等が右肩上がりで増加していることで、5,245円の大増増となっており、類似団体平均を大きく上回っている。
 衛生費は、コロナワクチン接種事業費が大幅減となった一方で、最終処分場の管理費や焼却施設事業の増に伴い一部事務組合への負担金が大幅に増加したことで、1,464円の増となった。
 農林水産業費は地域総合整備資金貸付金事業の実施により一時的に大きく増加した。
 土木費は、下水道事業会計補助金の増や道路維持事業費、河川浚渫事業費といった維持補修費の増があったものの、道路整備事業等の普通建設費が減となり、780円の増となった。
 教育費は、公立認定こども園の整備や社会教育施設の改修、整備を行ったほか、多額の寄附金を基金に積み立てたことにより7,331円の大増増となった。